

# 日本の速記

2025

7

No.1019



シリーズ 議会豆知識63「動議と議案」

第229回速記技能検定結果

日本語のかな漢字テキストとローマ字テキストの  
タイピングにおける変換係数について

朝ドラ『あんぱん』連動「速記をやってみよう！」キャンペーン

公益社団法人 日本速記協会

## ■巻頭言■

### 伝統と文化のはざまで

理事 大熊 克彦

昨年の総会で理事に選任いただき  
ました大熊克彦です。理事になって  
日が浅い私にとって、この巻頭言を  
書くというのは身に余る思いですが、  
だからこそ、今感じている率直な気  
持ちをお伝えしたいと思います。

私は速記の技能者ではなく、速記  
業務を担う会社の経営という立場か  
ら、皆さまとともに速記の未来を考  
える機会をいただいております。

率直に申し上げて、私自身は速記  
ができません。現在、私たちの会社  
でも、録音音声をもとに議事録を作  
成するのが主流となっており、いわ  
ゆる「速記文字」を日常業務の中で

目にする機会は少なくなっています。  
しかし、だからこそ気づかされるこ  
とがあります。それは、速記という  
技術の本質的な価値、そしてこれま  
で日本の公的記録や報道の裏側を支  
えてきた、職人技ともいえる力への  
敬意です。

経営者として日々感じるのは、正  
確で信頼性のある記録の重要性です。  
録音技術やAIによる書き起こしが  
進化する中でも、現場のニュアンス、  
空気感、文脈までを的確に捉える力  
は、やはり人の力、特に速記者の技  
にしか宿らないと実感することも少  
なくありません。

理事としては、速記という文化や  
技能を守りながらも、現実の業務環  
境や社会のニーズに即した形で、そ  
の価値を見直し、次世代につなげて  
いくお手伝いができればと考えてい  
ます。

速記を「使える人」ではないから

こそ見える視点、伝えられる言葉も  
あるのではないかと思っています。  
また、速記を使ってこなかったから  
こそ、客観的な視点で業界全体を見  
詰め直すこともできると感じていま  
す。

今の時代に求められる「記録の質」  
とは何か、速記という技術をどう活  
かし、どう次の世代につないでいく  
か。これは協会全体で考えていくべ  
き大きなテーマだと思っています。  
これからも、理事として皆さまと  
ご一緒に速記の未来を考え、そして  
速記の価値を社会に伝える役割を担っ  
ていけたらと願っております。

本冊子『日本の速記』が、速記に  
長年たずさわってこられた方々にとつ  
ても、これからこの世界を知ろうと  
する方々にとつても、新たな気づき  
や誇りをもたらすものであることを  
願って、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

## シリーズ ■議会豆知識63

### 動議と議案

今回は「動議」と「議案」がテーマです。「動議」について大辞林は、「予定以外の議題をその構成員が提出すること。また、その提案。」としています。緊急提案のようなイメージでいるようです。議会における動議は緊急に提案されるものもありますが、予め決まっている場合もあります。

動議と聞いて思いつくのはどのようなものでしょうか。衆議院の本会議を傍聴された方は、独特の言い回し、それも大声で次のような発言がなされたのを経験された方もいると思います。

「ぎちょお——！ 国務大臣の演説に対する質疑は延期し、本日はこれにて散会されることを望みます。」

本題と離れますが、この発言の意味を解説しますと、日程事項が残っている場合本来は延会となりますが、衆議院では延会された案件は次会の議事日程の首位に記載すべきという先例があることから、日程編成権が制約されることとなります。それを回避するため、日程を延期しその日の議事日程記載案件をなくし、結果散会とすることを可能とするのがこの動議の意味になります。運営をやりやすくするための工夫の例です。

この発言は議事進行係に指名された議員が行う議事進行のための動議です。動議とは「会議の進行について議会の議決を求める議員の提案のこと」です。基本的には会議の流れを変えようとする提案で、原則口頭でなされます。

賛成者の数は会議規則に定められています。一人としている例が多いようです。なお標準会議規則によれば委員会では賛成者は必要とされていません。衆議院では議事進行の動議には賛

成者は必要とされていないので、議事進行係の発言で動議は成立します。なお参議院では一人以上の賛成者が必要です。

動議として成立したことを確認した後に動議の内容を諮ることになります。さきほどの例ですと、議長は動議を受けて「ただいまの散会の動議にご異議ありませんか。ご異議ありませんので本日は散会することといたします。」と宣告するという流れです。

「議案」や「要求」も議決を求める提案ですが、動議とは区別されます。要求の例として、投票による表決の要求がありますが、出席議員〇人以上から要求があるときは記名または無記名の投票で採決するとされています。要件を満たせば要求は成立します。それに対して、動議は提案内容の可否を諮ることが必要となります。

特に注意を要するのは議案との区別です。議案は議決対象となる案を文書で提出する必要があり、団体意思決定

議案（条例など）は地方自治法で提出者要件が決まっています。また機関意思決定議案（意見書、会議規則改正案など）は会議規則で提出要件が決まっています。動議とは別の体系ということになります。

しかしながら長に対する不信任の動議など議事の進行とは直接関係のない「独立の動議」は、内容を明確にするため文書の提出が求められることから、議案の提出と混同されがちです。

例えば特別委員会を設置しようとする場合、設置の提案を議員が行うには動議形式と議案（設置決議案）形式がありますが、「設置決議案を動議で提出する」というような混同を生じることがままあります。

具体的には、議員が動議で特別委員会設置を提案する場合、特別委員会の名称、委員数、目的などを記した文書を議員に配付することにより議員に周

知する方法をとるのが一般的ですが、この文書が議案と混同されることがあるようです。しかしながらこの文書は議案ではありません。議案（決議案として同内容の文書を提案する方法との違いは、動議の場合は修正や委員会付託できませんが、議案であれば可能ということです。当然提出要件も違ってきます。

動議は会議の進行に関する提案という性格を有しますので即決されることが原則であり、修正や委員会付託の対象にはなりません。例えば委員数を増やすなど修正が必要であれば別の動議を出す必要があります。

なお、特別委員会設置の他の方法として議長発議というやり方もあります。これは事前に設置について議会運営委員会です承したうえで、議長の権限として提案する方法です。議長発議は議員派遣の決定の場合によく使われます。

最初に紹介した衆議院の議事進行係ですが、参議院にはこのような係は設けられていないそうです。参議院では全員に異議がない提案は議長発議で行い、与野党協調の証としているそうです。それに対して衆議院で議事進行係が指名されるのは議長ではなく議員が主導していくという考え方があってはなにかといわれています。議会の進め方にもそれぞれの理念があることを示す一例です。

理事 内田 一夫

元全国都道府県議会議長会  
事務局次長 議事調査部長

次回は

「討論と議論」

を予定しています。

# 佐賀商業高等学校速記部

## 地元のテレビで紹介される！

### 九州で唯一の部活 "速記部"とは？ 佐賀商業高校に潜入！

ということで、佐賀県を中心に、福岡、長崎、熊本の一部にまで電波を届けるサガテレビの情報番組「かちかちLIVE」で佐賀商業高校速記部が取り上げられました。

放送されたのは5月20日（火）、学生たちの取り組みや部活動などを紹介し、その魅力や情熱を伝える「青春！アクティ部」のコーナーです。

お近くの方、ご覧になりましたか？

残念ながら見逃したという方、佐賀のテレビは見られないよという方は、サガテレビのWEBサイト【kachi kachi plus】でご覧いただけます。ただし、動画ではありませんので、念のため。

下記のURLまたはQRコードをご利用ください。

<https://www.sagatv.co.jp/kachiplus/media/archives/1660504>

内容を少し紹介しますと、まずは佐賀商速記部の輝かしい実績、そして速記符号の紹介。佐賀商速記部が用いているのは「中根式！」。そう、NHKの朝ドラ「あんぱん」で今田美桜さんが自ら手を動かして書いていたあの方式です。実際に書いているところも紹介されているのですが、動画で見られないのが本当に残念です。



指導されている小出先生からは、「速記の練習をすると読解力と作文力が向上します」とのコメントも。これは皆さん納得ですよ。

部員からは「全国大会での優勝を目指しています！」との力強い意気込みが語られました。

佐賀商速記部の皆さん！ご活躍、大いに期待しています。

そして、ライバル校の皆さん！皆さんにも大いに期待していますよ！

みんなで速記に挑み楽しみ、そして盛り上げていけたら素晴らしいですね。

【この記事はサガテレビの許諾を得て掲載しています。】



## まほろば速記通信③⑤

### 「速記者をした 4年間の思い出」

前川 純二

#### 市の臨時職員で速記者をする

私は五年ほど前まで四年間、市役所の臨時職員の立場で、速記者を経験させていただきました。

今でもされているようですが、奈良市の市長・副市長・教育長など中

枢の方々、市内の各地域の公民館などに出かけられ、それぞれの地域の自治連合会や地域自治協議会など地元の方々との話合いの場を持たれています。私の任務というのは、その記録を作成することでした。

#### 話し合われる内容は

話し合われる内容は、地域の課題や将来像、困っておられることの解決策、その他の意見、要望事項など、多岐にわたります。例を挙げると、学校の統廃合、新駅関連整備、避難所、通学路、有害鳥獣対策、浸水対策、交通安全対策などです。

#### 質疑応答の要約を

#### ホームページに

胸襟を開いて一緒に検討される中で、知恵を集めてよりよい地域づくりを進めていく、とても有意義な集まりで、その記録もとても重要です。

質疑応答の要約は、市のホームページに掲載して、公開されます。

#### 原文帳からの反訳が頼り

私は会場の一番後ろの席の、さらに隅っこの方の、目立たない椅子だけの席に座り、バインダーに原文帳を挟んで、膝の上で速記しました。録音については決められていませんが、こちら側の配慮として自由闊達な議論の妨げにならないように、表立っては見えないうにしました。したがって、余りきれいな録音ではなく、その上、雑音、せき、発言の重複などで、とても聞こえにくいいため、原文帳が頼りになります。一生懸命速記しました。

#### 後で必ず読み返せる

#### ように速記する

現場から戻ると、原文帳の黒いボールペンで書いた速記文字の上に、反

訳した文字をシャープペンで書いて  
いききました。この作業を通じて、  
「後で必ず読み返せるように速記す  
る」ことの大切さを痛感しました。

中途半端に覚えていて読み返しで  
きないような省略法より、基本文字  
で書いた方がよほど読みやすいこと  
が、身にしみて分かりました。

濁音・長音符号等は省略する原則  
になっていますが、後で必ず読める  
ように工夫しました。四年間してい  
るうちに、「この言葉はこう書く」  
という習慣というか、型ができました。

### 録音を聞いて最終確認する

その後、聞こえにくいものですが、  
ボイスレコーダーを聞きながら、赤  
のボールペンで補筆していききました。  
余り速記できてなくて、赤字の多  
いページもありましたが、このよう  
な方法で、原文帳を利用して、そこ

に全文記録を作成したのです。

### 全文記録から

#### 質疑応答の要約を作成

この全文記録から、まず質疑応答  
の極めて詳細な要約を、エクセルで  
作成しました。次にその日の会議で  
重点的な議題になったと思われる十  
前後の項目を選び、質疑応答とも本  
当のポイントだけを抽出して、うん  
と要約した質疑応答の要約を作成し  
ました。これが次々に市のホームペー  
ジに掲載されていったのです。

### 図書館協議会の設置と

#### 記録作成経験

私の拙い経験を申しますと、私が  
市立中央図書館長をさせていただ  
いていたときに、図書館の運営に教育  
関係者や学識経験者の意見の反映が  
必要と思い、条例を制定していただ  
き、図書館協議会を設置しました。

それに伴い会議記録も作成しました。

### 行政の内部では

#### 様々な会議が開催

地方公共団体においては、行政委  
員会等合議制の機関もあり、また附  
属機関を初めとした審議会等も多く  
あり、今回のように市の幹部の方と  
地元の方々との話し合いの会議もあ  
り得るように、行政の内部において  
様々な会議が開かれています。

それらの会議については、いろい  
ろな仕方、担当者などによりそれ  
ぞれの記録が作成されていると思わ  
れますが、ほとんどは要約記録であ  
ると思われますので、もし速記者が  
それに携わる場合には、要約力とい  
うのも必要な、大切な力の一つになっ  
てくると思います。

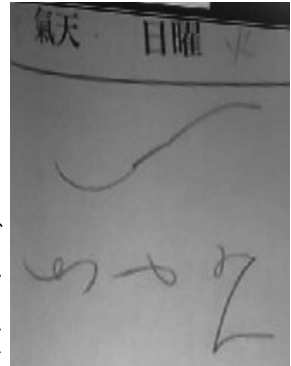
# 朝ドラ『あんぱん』連動



## キャンペーン

現在放送中のNHK連続テレビ小説『あんぱん』において、今田美桜さんが演じる朝田のぶが、速記を練習し仕事で活用するシーンがあり、速記があらためて注目を集めています。

これにあわせて、協会では、どなたでも気軽に速記を体験できるキャンペーン「速記チャレンジ」を企画いたしました。



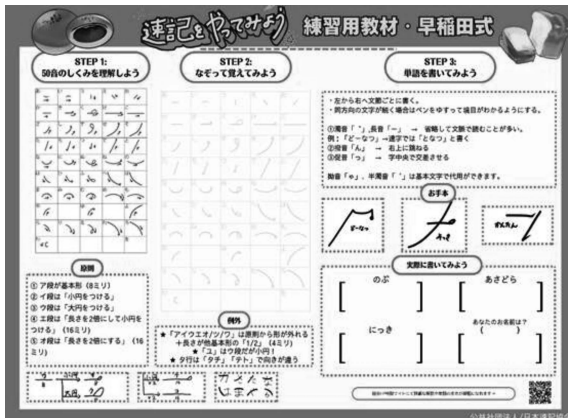
朝ドラでの速記シーン

このキャンペーンでは、初心者でも取り組みやすい入門教材をPDF形式で配布いたします。教材は、現在広く用いられている以下の三方式に対応しています。

- 中根式
- 早稲田式
- V式

それぞれの教材では、各方式の五十音表と、ドラマ『あんぱん』の世界観にも関連する語句を用意しており、ドラマをきっかけに速記に関心を持たれた方が、自宅で気軽に練習できる内容になっています。

教材内容…  
※ページ公開時は変更の場合があります。



教材は、当協会ホームページ内の「速記チャレンジ特設ページ」から無料でダウンロード可能です。印刷して



ページデザインイメージ…  
※ページ公開時は変更の場合があります。



ページリンクのQRコード：  
URL: <https://sokki.or.jp/kyokai/apan/>

実際に速記を書いてみたり、練習の様子をSNS等で共有していただくことも大歓迎です。

本誌が皆さまのお手元に届くころには、すでにページが公開されている予定です。ページのURLとQRコードは左記をご参照ください。また、参考までに製作中のページデザインイメージもご紹介いたします。

今回の「速記チャレンジ」が、速記を知らなかった方にとっての新たな入口となり、また速記経験者の皆さまにとっても、速記を改めて楽しむきっかけとなれば幸いです。

今後、特設ページには、初めての方でも「速記とはどのようなものか」が直感的に伝わるよう、速記の書かれる様子を

GIFアニメーションで紹介するコーナーや、『あんぱん』製作協力について、監修者の視点から解説する特設ページも公開を検討しております。（予定）

『あんぱん』をきっかけに、これからの世代にも速記の魅力が広がっていくことを楽しみにしています。

# NHK連続テレビ小説『あんぱん』× 速記チャレンジ

※速記チャレンジで速記をはじめよう！  
あなたも「速記」をオンラインで挑戦してみませんか？

初心者向け

～ドラマ『あんぱん』で話題～

あなたも速記をやってみよう！

速記チャレンジ教材

無料で配布中

## 3STEPで参加しよう！

- STEP1: 教材をダウンロード
- STEP2: 書いてみよう
- STEP3: SNSで投稿！



- STEP1:教材をダウンロード
- ※ダウンロードした問題が練習できるPDFを無料配布中！
- (DLはこちらから)
- ※形式
- ※形式
- ※形式
- STEP2:書いてみよう
- ※ペンがあればOK！速記の書き方にチャレンジ！
- STEP3: SNSで投稿！
- ※速記チャレンジ をつけて、みんなと一緒に楽しもう！

## 賛助会員としてのご支援のお願い

日本速記協会は、1920年（大正9年）に結成、1965年（昭和40年）に社団法人として認可、2012年（平成24年）に公益社団法人として認定という歴史を有しており、この間、「国民の書記能力の増進」「記録事務の能率化」「速記の普及発達と利用分野の開発」「公正で正確な発言記録作成技術の普及」などといった目的を達成するために様々な事業を展開しております。

その主な事業として、速記技能検定の実施、議事記録事務及び議事運営事務に係る研修会の開催、標準用字用例辞典など発言記録作成に資する書籍の刊行が挙げられますが、当協会では、これらの事業を充実させ、速記・記録技術の発展と社会への貢献を強化するため、賛助会員制度を設けております。

つきましては、当協会の目的と活動にご賛同いただける皆様に、賛助会員としてご支援を賜りたく、ここにお願い申し上げる次第でございます。

賛助会員の皆様には、以下の特典をご用意しております。

1. 当協会発行の機関誌「日本の速記」の無料提供
2. 標準用字用例辞典など協会刊行物の割引購入
3. 速記・記録技術に関する研修会やセミナーへの優待参加
4. 速記・記録技術に関する最新情報の優先提供

賛助会員の会費は **1 口30,000円**（年額）となっております。

皆様からのご支援は、速記・記録技術の研究開発や普及、発言記録作成技能者の育成環境の整備、そして議事録作成や字幕制作など情報保障に係る取組の拡充に活用させていただきます。

当協会は、会員の高齢化や会員数の減少などにより、難しい事業運営を余儀なくされている側面もありますが、事情ご賢察の上、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

【お問合せ先】 日本速記協会事務局 Tel03-6205-9701（担当：蒲池）

### 公益社団法人日本速記協会定款

第5条 この法人に次の会員を置く。

- （1）正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- （2）賛助会員 前号に該当しない者で、この法人の目的に賛同し、学術研究その他の見地からこの法人の発展を賛助するために入会した個人又は法人若しくは団体

## 寄附のお願い

公益社団法人日本速記協会

理事長 保坂 正春

日本速記協会は、速記の普及並びに歴史・文化の継承とともに、正確な発言記録の作成を支援する活動を行っています。

しかしながら、これらの活動を支える会費収入は年々減少しております。  
速記を未来につなげていくために、広く皆様方よりご寄附によるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ◎寄附金振込先

- ・郵便局（ゆうちょ銀行）からお振込みの場合

番号 00110-2-53583 加入者名：公益社団法人 日本速記協会  
※振込票の「通信欄」に「寄附」と記載してください。

- ・銀行からお振込みの場合

みずほ銀行 町村会館出張所

普通預金 1001509 公益社団法人 日本速記協会

### ◎領収書の発行について

寄附金拝受後に「領収書」と「税額控除に係る証明書」を郵送します。

領収書の発行日は、寄附金の入金日となります。

### ◎税制上の優遇措置について

公益法人へ寄附を行った場合、寄附金の額に応じて個人または法人の所得から一定額を控除する等の税制上の優遇措置が設けられています。

### ◎問合せ先

公益社団法人日本速記協会 事務局

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-10-11 KG ビル4階

Tel : 03-6205-9701 Fax : 03-6205-9702

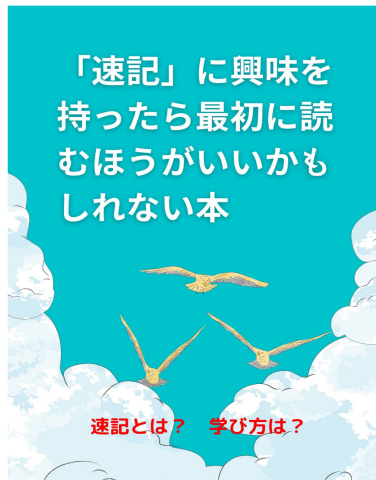
e-mail : [info@sokki.or.jp](mailto:info@sokki.or.jp)

## 書籍のご案内

「速記」に興味を持ったなら最初に読むほうがいいかもしれない本  
～速記とは？ 学び方は？～

内容は以下のようになっています。

はじめに / 「速記」とは？ / 速く書くのが速記ではない / すぐメモ取りに活用したい人には不向き / 知的な趣味としては超お勧め / プロを目指したい方へ / 速記の方式は100ほどあるらしい / 速記の始まりは紀元前 / 速記の学習は国語力のアップ / 秘密の文字は日記で大活躍 / 指先の刺激で老化の防止に / 聴く力は人間性の涵養にも / 紙はコピー用紙 / 消しゴムは御自由に / ペンの基本はシャープ / 芯の太さと濃さは？ / 辞書は「新訂標準用字用例辞典」一択 / テキストは少ないが入手は可能 / 全くの独学でも学ぶことはできる？ / 通信教育や教育機関は？ / 共同練習会は各地に存在する / 学校の速記クラブ / オンラインでの学習 / 「ゆっくり書く」という心構え / 姿勢と力の入れ方 / 左利きの方の場合



2025年6月1日初版発行

著者 保田良春

発行所 紀の国速記研究所

<https://kinokunisokki0.webnode.jp/>

定価 1,000円（税込み）



### 日本の速記 2025年7月号

発行日 令和7年7月1日

発行人 保坂 正春

編集人 保田 良春

発行所 公益社団法人 日本速記協会

〒171-0033

東京都豊島区高田3-10-11 KGビル4階

電話 03(6205)9701 F A X 03(6205)9702

Eメール [info@sokki.or.jp](mailto:info@sokki.or.jp) <https://sokki.or.jp/>

印刷所 日本印刷株式会社 〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル

本号掲載著作物の無断転載、複製を禁じます